

基礎研究医養成活性化プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EW441	病理学・法医学概論	1	1.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 高屋敷 典生	人体病理学の基礎(1. 標本の取り扱いとホルマリン固定法、2. パラフィン標本作製技術およびクリオスタットを用いた新鮮凍結材料の薄切技術、3. 免疫組織染色の基礎と増感法、4. 免疫組織染色を用いた診断およびコンパニオン診断への応用、5. FISHを用いた診断の有用性、6. NGSを用いたゲノム診断の医療への応用と病理医の役割)について、さらに法医学の基礎(1. 医療事故における病理解剖の意義と死因解明学、2. 死後CTによる診断の有用性と限界)などについて集中講義を行う。	病理アカデミックレジデントコース、社会人大学院病理コースに限る
02EW442	先端医学概論I	2	1.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 土屋尚之, 高屋敷 典生	担当する基礎医学、生命科学関連分野の研究指導教員が、自らの研究グループの研究を解説する。E-learningを利用して、受講者は10回以上を受講し、興味を持った複数のグループの研究内容に関連する論文を読むとともに、実際に研究室を訪問して教員と討論する。講義、論文(講義担当教員が提示する3つ以上の論文)、討論内容を題材としたレポートを作成し、授業担当教員と研究指導教員が評価する。IとIIでは異なる内容を扱う。	病理アカデミックレジデントコース、社会人大学院病理コースに限る
02EW443	先端医学概論II	2	1.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 土屋尚之, 高屋敷 典生	担当する基礎医学、生命科学関連分野の研究指導教員が、自らの研究グループの研究を解説する。E-learningを利用して、受講者は10回以上を受講し、興味を持った複数のグループの研究内容に関連する論文を読むとともに、実際に研究室を訪問して教員と討論する。講義、論文(講義担当教員が提示する3つ以上の論文)、討論内容を題材としたレポートを作成し、授業担当教員と研究指導教員が評価する。IとIIでは異なる内容を扱う。	病理アカデミックレジデントコース、社会人大学院病理コースに限る
02EW445	病理診断学実習I	3	1.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 高屋敷 典生	筑波大学附属病院病理部あるいは本プログラムを提携して推進する自治医科大学附属病院、獨協医科大学附属病院の病理部においてヒト組織全般に渡って生検組織、手術的に摘出した臓器、あるいは血液、尿などの液性検体について病理診断、細胞診断および遺伝子診断の実務全般を研修するとともに指導教員とともに実際の診断業務にあたる。どの大学の病理部において研修を行ってもインターネットを利用したdigital画像試験で学習進捗状況を同じレベルで判定し、学習効果を向上させる。	病理アカデミックレジデントコース、社会人大学院病理コースに限る 附属病院病理部において病理診断実習。事前に医学大学院教務へ附属病院利用願を提出すること。
02EW446	病理診断学実習II	3	1.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 高屋敷 典生	筑波大学附属病院病理部あるいは本プログラムを提携して推進する自治医科大学附属病院、獨協医科大学附属病院の病理部においてヒト組織全般に渡って生検組織、手術的に摘出した臓器、あるいは血液、尿などの液性検体について病理診断、細胞診断および遺伝子診断の実務全般を研修するとともに指導教員とともに実際の診断業務にあたる。どの大学の病理部において研修を行ってもインターネットを利用したdigital画像試験で学習進捗状況を同じレベルで判定し、学習効果を向上させる。	病理アカデミックレジデントコース、社会人大学院病理コースに限る 附属病院病理部において病理診断実習。事前に医学大学院教務へ附属病院利用願を提出すること。